

## 会 議 録 (要 旨)

会 議 の 名 称	平成30年度 第3回東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例見守り・検証会議				
開 催 日 時	平成31年2月4日(月) 午後6時00分～6時45分				
開 催 場 所	東村山市役所いきいきプラザ3階 マルチメディアホール				
出 席 者 及 び 欠 席 者	<p>●出席者：</p> <p>(委 員) 西村委員(会長)、紺野委員(職務代理)、鳥本委員、平野委員、山崎委員 (市) 渡部市長、荒井副市長 (所 管) 濱田人事課長、深野行政経営課長 (事務局) 間野経営政策部長、河村経営政策部次長、 笠原企画政策課長、長谷川企画政策課課長補佐、大矢企画政策課主事、中田 囑託職員</p> <p>●欠席者：十時委員、高橋委員</p>				
傍 聴 の 可 否	可	傍聴不可の場 合はその理由	/	傍聴者数	0名
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) 答申の検討</p> <p>4 その他 ○会議録の確認 ○平成30年度東村山市版株主総会報告</p> <p>5 閉会</p>				
問 い 合 わ せ 先	<p>東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例見守り・検証会議事務局 (東村山市経営政策部企画政策課)</p> <p>住所：〒189-8501 東村山市本町1-2-3      電話：042-393-5111(内線2212)</p>				
会 議 経 過					
<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 市長挨拶</b> 【市長】 本日はお忙しい中「平成30年度第3回東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例 見守り・検証会議」にご出席いただき、感謝を申し上げます。また昨年は、見守り検証会議の委員の皆さまには、大変お世話になり、感謝を申し上げます。平成30年度は、市で行っている様々な行政評価の仕組みや手法について見守り・検証いただいた。今日はその答申案についてご教授いただく。今後は、いただいたご意見を踏まえ、より良い行政評価の仕組みや手法を取り入れながら、市民の皆さまから常に評価をいただくことで行政経営の質を高めていくということが主旨なので、そういう視点で答申をいただけると有り難い。本日はよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p><b>3 議事</b> <b>(1) 前回会議録の確認</b></p>					

委員の方に事前にご確認いただいた前回会議録について、ホームページで公開することが決定された。

## (2) 答申の検討

事務局より答申（案）について説明を行う。

### 【事務局】

- 答申（案）の基本的な構成は、これまでと同様となっている。
- 前回会議で検証いただいた結果を踏まえ、答申書の主文を記載した。（配付資料1）
- 答申書の根拠は、検証方法、検証経過、検証結果による。（別紙）

### 【会長】

別紙に個別の判定結果及び主な補足意見が記載されている。主な補足意見については、事務局とも相談のうえ、改善の方向性などを具体的に述べているものを優先的に取り上げさせてもらった。そういう基準で選んだということをご理解のうえ、直すべき点、お気づきの点があればご意見をいただきたい。

### 【委員】

これまで議論してきたため、この答申（案）に対してあらためて私から申し上げることはない。ただこの中で、東村山市版株主総会に対する補足意見にある「無作為抽出の人数を増やしても参加者に大幅な変化はないので、それ以外の方法も考えるべき」について、その「考えるべき」内容を、ある一定の期間のテーマの中に、「こういうことで工夫していきたい」という意見を整備していけば、より具体的になるのではないかと思った。

### 【会長】

今のご意見は、答申（案）そのものに対してではないということか。

### 【委員】

「考えるべき」と提言があるのであれば、次回の株主総会に間に合うかどうかはわからないが、無作為抽出以外で参加者を募る具体的な手段や工夫について提案いただける機会があれば伺いたいと思い、申し上げた。

### 【会長】

今後また株主総会を開催するのであれば、どう工夫したか話を伺う機会があれば伺ってみたいということだ。

### 【委員】

私が出した意見だと思うが、無作為抽出自体は良いのだが、対象者を2千人から3千人に増やした結果、参加者数がそこまで増えていなかったの、何かプラスαの工夫はないかと思った。

### 【委員】

たとえば、無作為抽出の中の何割かを、有識者の中から選ぶというのはどうか。

### 【委員】

たとえば、一回参加された方の中からまた選ぶのはどうか。

**【委員】**

参加者の中の何割かは、ある程度市政に対して意見をお持ちの方や、多少経験のある方を選ぶと良いのではないかと考えた。

**【会長】**

全員が一致してこの方法をやるべきだということではなかったと思うので、もし入れるとすれば、例示で入れるくらいかと思うがいかがか。

**【委員】**

答申（案）別紙は皆さんからの主要な意見を抜粋したものだが、この元になる資料はあるか。

**【事務局】**

議事録と、前回皆さまからいただいた検証シートもある。

**【事務局】**

株主総会の参加者の件については、この会議でご指摘いただいたことも踏まえ、庁内でも議論している。無作為抽出の対象者を2千人から3千人に増やしても、参加者数にそれほど大きな伸びがないということで、お知らせ方法をもう少し検討していくということを庁内で共有している。ただ、前回もご説明した通り、これを手上げ方式にしていくということではなく、あくまでも無作為抽出した方へのご案内の中で、参加しやすいような、または参加してみたいようなお知らせ方法を今後考えていきたい。また、手法については、今ご指摘のあった、有識者の参加や過去に参加された方への再度のご案内等も含めて、来年度以降も考えていきたい。答申（案）の「考えるべき」という内容については、我々としては今後も検討していく内容だと認識しているので、特段何かご指摘の文章を入れていただくというよりは、この会議の議事録としても残るので、そこで共有させていただく。

**【会長】**

市としても参加者は多く来てほしいはずなので、答申（案）の表現はこのかたちでいいと思う。その他に意見はあるか。

**【委員】**

全体を見ると、目標管理制度の評価点だけが厳しくなってしまった。目標として設定したことを達成できなかったものをC評価で終わらせるわけにはいかないなので、着手していればBという評価になってしまった。そのあたりの事情を踏まえた上で意見をさせていただいたつもりだが、これだけ厳しくなってしまった印象を受ける。そのことがわかる一文を入れてはどうか。

**【会長】**

全体を比較したときに、これだけ厳しい評価点が平均でも出ているのは事実だと思う。目標管理制度の目的自体が、一般的な評価の仕方と違うというところでギャップがあるかもしれない。逆にそういう意見をぶつけていくのがこの会議の役割とも思うので、厳しい意見があっても良い。原則論に立ち返れば、普通の市民の方が見てどう思ったかということで良いのではないかと。

#### 【事務局】

目標管理制度については、前回会議で行政経営課長から説明させていただいたが、数値化しづらいところもあり、そのあたりの経過は会議録でも表現しているつもりである。評価について部によって若干ばらつきがあったことは今後の課題として認識しているが、我々としては率直なご意見を頂戴したということで、特段目標管理制度に対して集中的にご指摘いただいたとは認識していない。

#### 【会長】

評価というのは難しく、ある程度数値化はしないといけないが、あまりし過ぎると、全体として市民に効果が上がっているかということではなく、数値を良くするための取組みになってしまうという問題がある。ある程度客観的な数字は必要だが、民間企業とは違い売上さえ上がっていれば全体が良くなるというはっきりとした指標がないため、そこは非常に難しい。とはいえ、数値なしというのはどうかと思うので、答申としては、これくらいの書きぶりで良いのではないかと思う。その他に意見はあるか。

#### 【全員】

なし。

#### 答申（写し）配付

#### 【会長】

修正は出なかったため、この内容で市長へ答申として提出したいと思うが、賛成の方は挙手を願う。

#### 【全員】

挙手。

#### 【会長】

挙手多数と認める。この内容で審議会として答申を出す。

#### 答申受理

## 4 その他

#### 【事務局】

○本日の会議録は、後日メールで確認をいただいた後、ホームページに掲載する。

○平成30年11月17日に、平成30年度東村山市版株主総会を開催した。参加者40名、評価結果3.23点（5点満点）であった。今後市が力を入れていくべき分野として出された意見では、「都市基盤整備の分野」が多く、市が重要施策と認識している分野とも一致していることから、課題の共有が図られているものとする。

## 5 閉会